

様式第1号

会 議 録

会 議 の 名 称	第2回所沢市交通安全対策会議
開 催 日 時	平成28年9月27日(火)午後2時~午後3時
開 催 場 所	所沢市役所8階 大会議室
出席者の氏名	<p>会長 所沢市長 藤本 正人 委員 埼玉県川越県土整備事務所 所長 大島 利彦 埼玉県所沢警察署 署長 関口 啓一 市民部長 鈴木 康人 福祉部長 植村 里美 環境クリーン部長 越阪部 孝夫 街づくり計画部長 糟谷 守 建設部長 溝井 久男 埼玉西部消防局所沢中央消防署 消防署統括監兼所沢中央消防署長 江口 庸介 幹事 埼玉県所沢警察署 交通課長 新井 誠</p>
欠席者の氏名	<p>委員 経営企画部長 三上 昌美 財務部長 駒井 三千男 教育長 内藤 隆行</p>
説明者の職・氏名	なし
議 題	<p>第2回所沢市交通安全対策会議(公開) (1)第10次所沢市交通安全計画(素案)の策定について (2)その他</p>
会 議 資 料	<p>資料1:第10次所沢市交通安全計画(素案) 資料2:第10次所沢市交通安全計画の主要点</p>

担 当 部 課 名	事務局 市民部交通安全課長 田中 政美 " 交通安全課主査 芦川 博美 " 交通安全課主任 高野 大樹 " 交通安全課主事 酒井 健佑 " 交通安全課主事 伊藤 彰 市民部交通安全課 電話 04(2998)9140
-----------	---

様式第2号

発 言 者	審議の内容(審議経過・決定事項等)
事務局	～ 開会 ～
議長(会長)	～ 藤本会長(市長)あいさつ～
事務局	事務局より会議の成立報告(委員の過半数の出席)及び、本会議を公開とし、会議録の作成は要約記述方式(発言者名の記載無し・第1回会議で了承済み)とする説明があった。 会議開催時は傍聴希望者0人。
事務局	～ 配布資料確認、本会議の進め方及び審議内容説明～ ～ 議事開始～
事務局	表紙の副題は、市民、団体、行政が協力し交通事故防止を目指すべきことから、「お互いを思いやり、みんなで安心して歩けるまちを目指します」とした。 続いて、計画全体として市民が手にとってくれるよう、イラスト・写真等を多く差し込んだ。 10ページ「1 計画策定の趣旨」では、COOL JAPAN FOREST 高層による(仮称)ところざわサクラタウンの建設、所沢駅周辺の開発等、市独自の交通状況の変化について5年先を見据えた記述をした。 18ページ「第3章 第10次所沢市交通安全計画の目標」では、12ページから17ページまでの第2章において、所沢市の交通事故状況や第9次所沢市交通安全計画の検証を行い、課題が「高齢者」「自転車」「交差点」の事故が多いことと、第9次計画の目標に対する交通事故の数値は達成できていないことが分かる。そこで、第3章では、交通事故減少の数値目標として、平成32年までに(1)年間の交通事故死者数を4人以下とする(2)人口10万人当たりの交通事故死傷者数を366人以下とすることの2点を目標として掲げる。 19ページ第4章で、「高齢者」「自転車」「交差点」に対する対策を挙げる。 22ページでは、交通安全対策の協力体制として「所沢市交通安全推進協議会」の加盟団体を明記した。以上。
議長(会長)	説明について意見・質問等はあるか。
委員	「はじめに」で、交差点の事故が多いことを記載したほうが良いのではないかと。
事務局	加筆することとする。

委員	<p>18ページの目標を4人以下と、366人以下とした根拠、及び「鉄道及び踏切事故については、引き続き事故件数の確実な減少により死傷者数の減少を目指します」とあるが、データでは鉄道及び踏切事故は0件なので、この記載はいかがなものか。</p>
事務局	<p>4人以下は、所沢市の事故状況に考慮し決定した。366人以下は、埼玉県第10次交通安全計画に基づくものである。なお、指摘のあった鉄道及び踏切事故の表現については事務局で検討する。</p>
委員	<p>22ページ、所沢市交通安全推進協議会の位置づけについて記述がないが、触れたほうが良いのではないか。</p>
事務局	<p>23ページで触れているが、さらに詳しい内容を記述することとする。</p>
議長（会長）	<p>続いて、第2部各論について説明をお願いします。</p>
事務局	<p>各論については、各項目の最初に各章の内容が分かるよう解説を設けた。</p> <p>第1章「人と環境にやさしい道路交通環境の整備」では、主にハード面の要となる、道路交通環境について記述した。さらに、人にやさしくということを前面に出すため、「人優先の安心・安全な歩行空間の整備」を項目の1番目に記述した。</p> <p>第2章「交通安全思想の普及徹底」では、送付と面の要となる、人への交通安全思想の普及について記載した。また、これからの超高齢社会に対応するため、43ページ「213 高齢者に対する交通安全教室」という項目を設置した。</p> <p>第3章「安全運転の確保」では、運転者等への教育及び啓発活動について記載したが、特に高齢運転者に対しての安全教育等について記述した。</p> <p>第4章「道路交通秩序の維持」では、交通ルール無視による交通事故を防止するため、警察による交通指導や取締り・指導等について記述した。</p> <p>第5章「救急・救助活動の充実」では、交通事故による負傷者に対しての救急・救助体制について記載した。また、平成25年4月から埼玉西部消防組合による広域消防体制が組織されたこと及び初期から第三次までの3段階の医療体制を盛り込んだ。</p> <p>第6章「交通被害者支援の推進」では、交通事故による被害者やその家族等への総合的な支援について記載し、所沢市交通災害共済についての説明を加えた。</p> <p>第7章「鉄道と踏切道の安全確保」では、多くの市民が利用する交通手段である鉄道の整備・安全対策について記載した。また、こる英社や障害者が安全に利用するためのユニバーサルデザイン及び踏切改良促進法の改正を踏まえ、鉄道事業者と関係機関の責務について記述した。以上。</p>
議長（会長）	<p>説明について意見・質問等はあるか。</p>

委員	例えばゾーン30の実績等、実施済み事業や明確な目標数値等は記載した方が良いのではないか。
事務局	各記述については、担当部署と相談の上、このような表記としている。また、この計画は実施計画ではないため、詳細な目標数値までは記載しない。目標数値については市の総合計画に譲る。
委員	68ページの解説については、「ユニバーサルデザイン」について、駅施設にも係るようにした方が良いのではないか。
事務局	表現を事務局で再検討する。
委員	「高齢者」については手厚い記述があるが、「自転車」にはそれが見られないようだが、どこに記載されているか。
事務局	説明では触れなかったが、第1章や第2章で自転車に触れる部分は作成している。
議長（会長）	全体を通して、なにかご意見・ご質問はあるか。
議長（会長）	COOL JAPAN FOREST構想等、今の所沢の状況のために書いてあると思うが、オリンピック・パラリンピックについて記述しているので、国立リハビリテーションセンターについては触れることはできないか。
事務局	該当部分を作成した経営企画課と事務局で打ち合わせする。
委員	29ページで111生活道路に対してと、112通学路に対する交通安全対策への記述の規模の大きさに差があると感じるがいかがか。
事務局	教育委員会等、担当部署と検討の上、表記を工夫する。
委員	市で拡幅している道路は、まず通学路が前提となっている。
議長（会長）	議事（2）「その他」について、事務局より何かあるか。
事務局	～今後の予定の説明～
議長（会長）	説明について意見・質問等はあるか。
一同	～意見・質問無し～ ～閉会～